



# Polaris news

【北高新聞 NO.202503】

## 「JICA 中部訪問」 (2025.06.12)

国際理解コース1年生が、JICA 中部を訪問しました。入学して初めての校外行事です。「なぜ国際協力をするのか」「JICA が行っている仕事」などについて聞いた後は、実際にパナマで栄養指導を行った方からの体験談を聞きました。現地で求められている援助を把握し、一緒に解決策を考えていったというお話を聞くことができました。ウガンダ給食を頂いたあとは、館内を案内してもらい、展示品などからも多くのことを学びました。



### ■生徒の感想より

- 今回の訪問を通して、「自分にできることは何か」ということをこれからも考え続けたいと思った。
- 現実に目を向け、困っている人たちのために、自分にできることを行動に移し、少しでも多くの人力になりたいと感じました。
- これからはもっと広い視野を持ち、誰かのために行動できる人になりたいと思った。
- 自分が知っていること、できること、得意なことが国際協力につながると知った。
- 相手と共に進み、学びあう姿勢が大切だという考えに共感しました。
- 開発途上国の現状を聞いて、とても悲しい気持ちになったと同時に、己の今までの無知さに腹が立った。
- どのような文化を大切にしているのかをお互いに聞きながら、何か行動にうつしていくと良いということを知りました。
- 私たちにとって当たり前のことが、当たり前でない人もいると知り、衝撃を受けました。
- 国際協力や環境問題は決して遠い国の話ではなく、自分たちの暮らしとも深くつながっていると実感しました。
- もし機会があれば、自分も国際協力隊の一員として関わりたいと思います。
- ヘアドネーションや募金などを積極的に行ってきましたが、さらに大きな力にするために、たくさんの活動を行いたいです。
- 改めて、世界について学びたいと思いました。
- これからは正しい知識をもって、世界の問題に向き合えるようにしていきたいと思います。